



『日本南極探検』 デジタル復元版 特別上映会

Special Screening: Digitally Restored Version of *THE JAPANESE EXPEDITION TO ANTARCTICA*

平素よりお世話になっております。このたびフィルムセンターでは、日本最古の長篇記録映画『日本南極探検』デジタル復元版の特別上映会を開催いたします。

白瀬矗(しらせ・のぶ)陸軍中尉率いる南極探検の行動を記録した『日本南極探検』(1912)は、日本における長篇記録映画の嚆矢とされ、文化・記録映画史上の重要作品ですが、1912年当時の作品は現存していないものとみられます。

当館では、探検隊の支援者であった村上俊蔵(1872-1924)のご遺族が所蔵していた851m(現存最長)の可燃性染調色ポジフィルムを新たに確認し、平成27年度に復元しました。最新のデジタル技術を用いて修復するとともに、フィルムに残された色味に従って、染色と調色を白黒フィルムに施した『日本南極探検』[デジタル復元版]を、どうぞお楽しみください。各回の上映前後には、当館研究員によるイントロダクションと復元の詳細を解説する講演が付きまします。

ぜひ、貴媒体にてご紹介いただきますよう、よろしく申し上げます。当日、イベントの取材をご希望される方は、あらかじめご相談いただければ幸いです。



『日本南極探検』 デジタル復元版 特別上映会

開催日:2016年11月24日(木) 3:00pm- / 7:00pm- ※開映後の入場はできません

会場:東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール(2階)

『日本南極探検』[デジタル復元版](49分)

不燃化・染色・調色:(株)IMAGICA ウェスト
デジタル修復:(株)IMAGICA

1912年/M パテー商会/(撮)田泉保直

後援会長の大隈重信邸での壮行会や、探検船・開南丸による芝浦埠頭出航の様、探検隊員の顔ぶれや彼らがペンギンと戯れる姿、そして南極大陸上陸の様から探検隊の帰港までが克明に記録されている。冒頭に3分の復元デモンストレーションを含む。

◆上映前のイントロダクション(約5分):とちぎあきら(フィルムセンター主任研究員)

◆上映後の講演(約30分):大傍正規(フィルムセンター主任研究員) *講演のみの参加(無料)もできます

【定員】310名(各回入替制)

【料金】一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

【お問い合わせ】03-5777-8600(ハローダイヤル)

【HP】<http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/special2016/>



本イベントの見どころ

○日本最古の長篇記録映画『日本南極探検』の現存最長・染調色プリントの[デジタル復元版]初上映。

○講演では、本作の修復プロセスについて概説するとともに、現存が確認されている複数のフィルム(NFC既蔵版・白瀬南極探検隊記念館版・早稲田大学演劇博物館版)との異同について、当時の新聞記事や検閲記録等の調査結果を交えて、比較検討を行います。

【本企画に関するお問い合わせ】東京国立近代美術館フィルムセンター(事業推進室:白鳥・碓井・大澤・富田)

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6 電話:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830 E-mail:nfc-pr@momat.go.jp